

2023
12月

久野営農経済センターだより



【TEL】 35-8010

営農経済センター年末年始営業時間について

12月30日(土)～1月3日(水)まで休業・1月4日(木)から通常営業
※営農経済センターの12月29日(金)の営業は13:00までとなります

【温州みかん】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

収穫 丁寧な収穫作業と貯蔵の管理を徹底しましょう。

貯蔵みかんの品質のバラつきをなくすため、果実の着色状況に応じて、2回以上に分けて収穫しましょう。
収穫適期を逃して、浮皮果にならないように注意して下さい。

※**収穫の目安** ○大津四号 ⇒ 完全着色 ○青島温州 ⇒ 8分色以上

果実管理 通常予措：コンテナ8分目ほどに軽く入れて、通気の良い貯蔵庫下屋等で10～15日間乾燥した空気にさらします。総量の5%程度の減量(しおれ)が目安です。(果皮がややしなびて弾力を持つ程度)

高温予措：着色促進と減酸を目的に、収穫直後に20℃で7日間果実を保温しておく。果実の傷からくる腐れが早いので、再度選果をしてから貯蔵・出荷をしましょう。

貯蔵 予措終了後、温度3～5℃・相対湿度85%を目安に貯蔵します。朝夕の換気と定期的に点検で腐敗果を取り除きましょう。また、0℃付近になると低温障害をおこすので、寒波時は貯蔵庫を密閉しましょう。

病害虫防除等 収穫後の12月下旬～1月中旬(厳寒期の散布は避けましょう)

○ミカンハダニ アタックオイル 60倍 1.66ℓ/水100ℓ 又はハーベストオイル 60倍 1.66ℓ/水100ℓ

○カイガラムシ ℓ/水100ℓ 又はスプレーオイル 60倍 1.66ℓ/水100ℓ

類 散布量は10aあたり500～600ℓを目安に、たっぷり散布しましょう。(病害虫多発生の主な原因は、密植と薬剤のかけムラです。)

【中晩柑】

防寒・鳥害対策のため、袋かけやネット被覆を実施しましょう。園地や品種により差がありますが、1月中旬までには終了するように作業しましょう。

【キウイフルーツ】

整枝剪定 12月下旬～2月上旬(樹液の流動が始まる前に終了しましょう。)

一文字整枝を基本に主枝・亜主枝を明確にして、亜主枝は2～3m間隔で配置します。高樹齢樹は樹がいたむため亜主枝の更新は避けましょう。古い亜主枝でも葉数を確保し維持しましょう。

古い側枝(結果母枝)は先追いしないよう、亜主枝、主枝に近づける、切り戻し更新を行いましょ。

結果母枝は、充実した新梢と本年の結果枝を併用し配置します。春の風害を想定し、やや多めに残しましょう。大きい切り口にはトップジンMペーストを塗布しましょう。

病害虫防除 11月下旬～12月中旬 ○かいよう病 I Cボルドー66D 50倍 2kg / 水100ℓ

土壌管理 11月～2月 土壌改良剤として、苦土石灰の施用をしましょう。 100kg～200kg / 10a

【梅】

冬季剪定 11月～12月 縮間伐と骨格作りを重視して主枝を配置し、内向枝・平行枝等の切除をします。

※ツボミを傷めないように、年内にノコギリ剪定(太い枝の処理)を終了させましょう。1月下旬までに細部の剪定作業(整枝・剪定)を終えましょう。1年枝は全部取らず横から出ている弱い枝は残しておきましょう。

病害虫防除 12月下旬～1月上旬(開花前) ○カイガラムシ類・越冬病害虫 石灰硫黄合剤7倍 14.2ℓ/水100ℓ

12月～1月上旬 休眠期(落葉後～萌芽前)

●コスカシバ フェニックスフロアブル 200倍樹幹部及び主枝に散布 開花期まで1回又は

ガットキラー乳剤 100倍 樹幹部及び主枝に散布 休眠期(落葉後～萌芽前) 2回 1ℓ/水100ℓ

【お茶】

老朽茶園の改植準備

生産性の向上と良質茶の生産をはかるため、老朽茶園を改植することが必要です。改植は抜根、天地返し、地ならしを計画的に行いましょう。その場合、石灰窒素をあらかじめ10aあたり80kg程度散布し、有機物の腐植化をはかりましょう。

【水稻】

土づくり

水稻が健全に生育するために、「堆肥・ワラ等」の有機物やケイカル等の土壤改良剤を計画的に施し、地力を増進する必要があります。

○有機物の施用

ワラの場合 収穫後年内までに全体に広げ、深耕（15センチ以上）しておきましょう。

（必要に応じて、石灰窒素（20kg/10a）を11月末までにすき込み施用すると腐熟が進む）

完熟堆肥の場合 10月から2月に全体に施し深耕しておきましょう。（500～1,000kg/10a）

○土壤改良剤の施用 ケイカル 100kg/10a 又は ようりん等

雑草防除 冬季にできる水田の雑草防除

冬季に耕耘することにより除草効果を期待することができます。多年生雑草の塊茎や根茎は低温や乾燥に弱いので、冬季の耕耘が防除に有効です。特にミズガヤツリ・クログワイ・オモダカなどの多い水田では反転耕耘により凍結枯死させられるので除草効果が高くなります。耕耘作業は年内までに一度は必ず行いましょう。

スクミリンゴガイ対策

管内でスクミリンゴガイ（別名：ジャンボタニシ）の発生が確認されております。発生した水田では耕耘を行い、貝を傷つけ越冬させないようにしましょう。

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

水稻栽培講習会の開催について ～来年に向け準備を！～

下記のとおり講習会を開催いたします。ぜひご参加ください。

1. 日時・会場

日付	時間	会場
12月19日（火）	10:00	開成事業所3階 大会議室 （開成町吉田島2000）
	14:00	本店3階 第2・第3会議室 （小田原市鴨宮627）

2. 対象者 JA かながわ西湘管内組合員（水稻栽培者）

3. 内容 （予定 全日程共通）

①来年の栽培に向けて ②病害虫・雑草防除について③その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止につき、体調の悪い方は参加をお控えください。

4. 講師 農業技術センター

5. 申込 12/15（金）までに営農部営農指導課または最寄りの支店・センターまでお申込みください。

※全日程同じ内容ですので、希望する日程にご参加ください。

（お問合せ）

J A かながわ西湘営農部営農指導課

TEL : 0465-46-6950